

虎哉大賞、虎哉賞を受けた小中学生ら＝岐阜市司町、みんなの森ぎふメディアアコスモス



小中生が夢や志つづつた作文

メディアコス入賞の16人表彰

夢を実現させるために努力を重ねている子どもたちをたたえる「ぎふ虎哉賞」の表彰式が、岐阜市司町のみんなの森ぎふメディアアコスモスで開かれた。石井瑞基君(七郷小6年)、中島和奏さん(精華中2年)が虎哉大賞に輝いた。

(高橋友基)

石井君(七郷小) 中島さん(精華中) 虎哉大賞

ぎふ虎哉賞は、美濃国方県郡馬馳郷(現・岐阜市西郷)出身で、伊達政宗の教育係も務めた僧侶の虎哉宗乙(1530～1611年)にちなんで創設された。福富医院(同市安食)の福富院院長が理事長を務める福富教育文化財団が主催し、市内の小中学生から夢や志をつづつた作文を公募した。審査を経て入賞者を決めた。

虎哉大賞の石井君は作文で、人を笑顔にしたいと、両親の職業の美容師を志し、将来は大好きな両親と一緒に仕事をしたいとの願いを書いた。接客に生かせるよう普段から思いやりの心を大切にしているとも強調した。

一方、中島さんは、父の遺志を継ぎ社長になることと、憧れのディズニールランドのキャストになる二つの夢を書いた。「やりたい事は何でもやってみなさい」という父の言葉を受け、夢をかなえ、二つに共通する人を幸せにする「志事」を行う決意を示した。虎哉賞は14人が受賞。式では入賞者に賞状などが手渡された。虎哉賞を受けたのは次の皆さん。